



# おかむら通信 第103号

平成25年11月

皆様、この夏の厳しき洗礼をうけて10月は大変つらい思いをされたようですね。11月に入り、ご自分の体調を戻しつつありますか？院長はじつのところ、少しバテています。前回免疫力の低下をお話ししましたが、もう少し疾病と戦っていかなければなりません。

さてみなさまの周辺、経済、教育、生きる環境などが政治状況と共に変わり始めているように思えます。さらに将来天変地異がこれに加わるとどうしようもなくなる可能性も高くなります。できれば、思想、宗教、貧富、個々の哲学、職業感などを超越して、人類同士お互いに許し、尊重し、愛し合うようにしたいものです。

## 院長より、

- ① このところ、情報の伝わり方がへん、と思うこのごろです。たとえば、我々の医療の情報にも見受けられます。全国の医師の間の情報と、新聞などメディアから得られる情報に食い違いが、見受けられますね。患者さんには、本当の情報を伝えし、日頃の診療に役立てていく所存です。
- ② インフルエンザワクチンについては、順調に接種が行われています。高齢な方、より重い疾病をお持ちの方には2回接種をおすすめしています。

## ある患者さんより、

### i) 最近、近所の方の弁、

「友人に急な発病や病気の急変でなくなられる方がおおいのですよ。人生わからないもんですね。気をつけなくちゃ」「大きな病院でも、専門の先生でもわからないんででしょうね。」、、、

みなさまはどうお感じですか？

実は、急変、急死は自殺、事故、術後の合併症などを除けば、私はかなり前から、遺伝子診断や特殊な検査をしなくても、推察ができると考えます。たとえ10年前からでも発生しうる病気を診断し、そうならないように手をうつのです。大概、複数の疾病が予測されます。

当院では、予測診断を心がけ、皆様には時にはしつこい診察室でのお話を我慢して頂いております。とくに初診の方には長い時間をおかけし、その後にお待ちの患者さんにご迷惑をおかけして申し訳ありません。当院では、補助診断を（たとえば酸素飽和度等）致しております。時折みなさまにお見せする、CTによるカラーのメタボリックシンドローム診断もこのうちに入ります。





## ii) 突発性難聴になったがどこにいってもよくならなかつた

まだまだ、当院がこの治療を開始してからもう20年になろうとしているのにいまだ、このようなお話を聞きます。本当に残念な限りです。なぜでしょう?なんといつても、気が付いたら、神経プロックが最優先です。もちろん一般的な治療も併せて行います。早く治療すれば、ほとんど回復します。

その他に

## I) コンピューターを用いた迅速骨粗しょう症診断をされる方が増えてきました。

即、診断し、今後の方針を打ち立て、きちんと定期的に治療効果をカラーの図でお見せしています。

## II) ITネット 正式には千葉県ITネットといいます。

10月26日に公式な県の依頼をうけて千葉大企画情報部の高林教授による説明会が行われました。実践形式で本当に詳しく丁寧にお話をされました。専門家、薬剤師会、松戸市医師会、他市医師会、院外薬局、松戸市行政、の方々が集まれ、かなりの質問が寄せられ、関心の高さを証明しました。

## 10月の活動紹介

/10(木) 当院エコーの整備、新機種の検討 今まで以上の機能と使いやすさを求めて、もちろん乳がん診断のエラストグラフィー装置も加えて、 当院にて

/13(日) 全国保険医協会の学会 ①在宅医療の現況と課題。必要性について②日本の医療のIT化の現状(政府、日本医師会の姿勢そして今後の課題、進むべき道について 横浜市内

/15(火) 松戸市医師会定例理事会

/18(金) NECによる当院電子カルテ調整、

/20(日) 当院・在宅当番日(外科、内科系患者さん受け入れ)

/22(水) MML、メリッツ、NTTDMCSによる「ITネット」受け入れ準備と検討

/24(木) イタリアの医療などについて講演 松戸市内

/25(金) 千葉県ITネット説明会 開催(医師・薬剤師・歯科医師・看護師・ケアマネ・事務・行政・IT専門家などが対象) 松戸市医師会衛生会館にて

/28(月) 牧の原小学校就学時検診 牧小にて

/29(火) アビウス超音波(国立がんセンター導入同機種)設置、PACS(診察室の画像の集約及び診断装置)との同期と・スタッフのオリエンテーション

最近寒暖の差が増々大きくなり  
体調を崩される方も増えています。  
自己管理が一番大切だと思ふですが、  
体温はそれを出でます。  
洋服の調整も大切ですよ。(佐藤)

